

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成18年11月24日(2006.11.24)

【公表番号】特表2006-502351(P2006-502351A)

【公表日】平成18年1月19日(2006.1.19)

【年通号数】公開・登録公報2006-003

【出願番号】特願2004-541887(P2004-541887)

【国際特許分類】

| | | |
|---------------|---------------|------------------|
| F 16 K | 31/524 | (2006.01) |
| B 01 F | 5/00 | (2006.01) |
| B 01 F | 5/02 | (2006.01) |
| B 01 F | 15/04 | (2006.01) |
| B 01 J | 4/02 | (2006.01) |

【F I】

| | | |
|---------------|---------------|----------|
| F 16 K | 31/524 | B |
| B 01 F | 5/00 | A |
| B 01 F | 5/02 | Z |
| B 01 F | 15/04 | A |
| B 01 J | 4/02 | B |

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月29日(2006.9.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

精密可変比率分配装置であって、

支持部材；

液体取入れ口、液体濃縮剤取入れ口及び混合溶液放出口を有し、前記支持部材に連結されたエダクタ；

バルブ本体、通路に関して相互動作を行いそれを通過する流量を変化させるためのニードル部材を含む、前記液体濃縮剤取入れ口と流体連通しているニードル・バルブ・アセンブリ；

前記ニードル部材に連結したカム従動部分；

前記カム従動子と前記通路の間に配置されたカム部材であって、第1の角度の斜面および急増する第2の角度の斜面を有するカム表面を有するカム部材；および

前記ニードル部材が前記カム部材と連結した前記カム従動部分とともに一方向に向けられたとき、前記バルブはバルブを通過する流量を増加させ、および前記ニードル部材が反対方向に向けられたとき、前記バルブはバルブを通過する流量を減少する様に構成され配置されている前記カム部材および前記カム従動部分からなる分配装置。

【請求項2】

前記ニードル部分の1回転が、前記バルブの完全な動作をもたらすように前記カム部材が構成され配置された請求項1に記載の分配装置。

【請求項3】

前記ニードル部分から延びているフランジ部材によって前記カム従動子が固定されている請求項1に記載の分配装置。

【請求項 4】

前記ニードル・バルブ・アセンブリが、前記エダクタに対して平行に配置されている請求項1に記載の分配装置。

【請求項 5】

前記ニードル・バルブ・アセンブリが、前記エダクタに対して直角に配置されている請求項1に記載の分配装置。

【請求項 6】

ダイヤル部材が、前記バルブ本体の外側で前記ニードル部材に連結されている請求項1に記載の分配装置。

【請求項 7】

前記バルブ本体が、前記エダクタの一端部で前記エダクタに、および前記液体濃縮剤取入れ口が前記バルブ本体の一側面に相互接続されている請求項1に記載の分配装置。

【請求項 8】

前記カム部材が、単品の、傾斜した、環状の構成部品により固定される請求項1に記載の分配装置。

【請求項 9】

前記カム表面の前記第2の角度の斜面が、前記第1の角度の斜面に連結している壁内で終端している請求項1に記載の分配装置。

【請求項 10】

前記カム部材および前記カム従動部分が、ダイヤル部材の完全回転時に前記カム従動部分をリセットするように構成され配置されている請求項1に記載の分配装置。